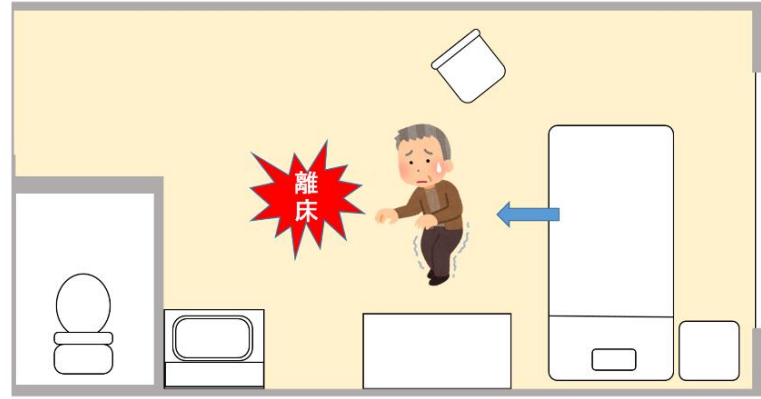
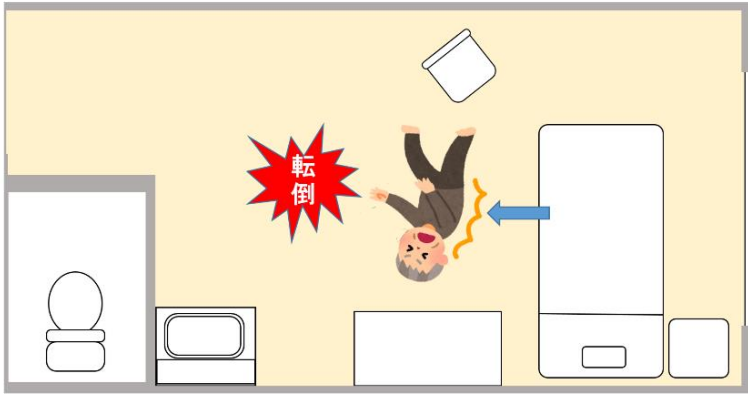


離床・転倒・徘徊検出センサー

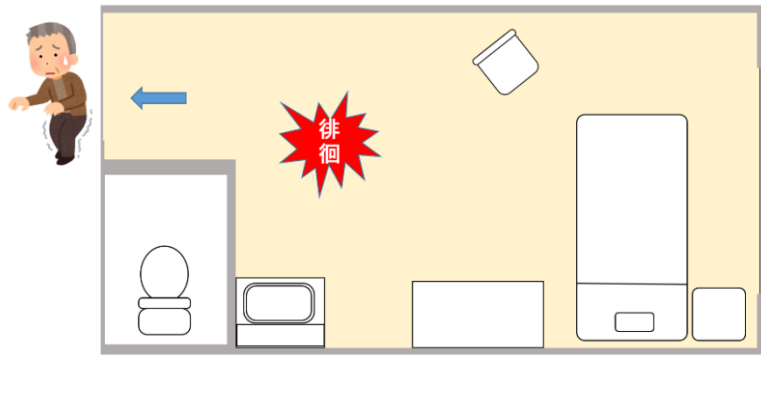
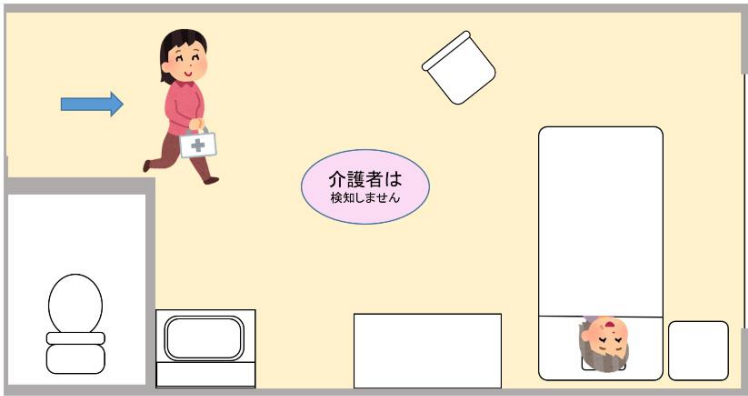
座込んだり寝転ぶと転倒と判定します。

ベッドから離れると離床と判定します。



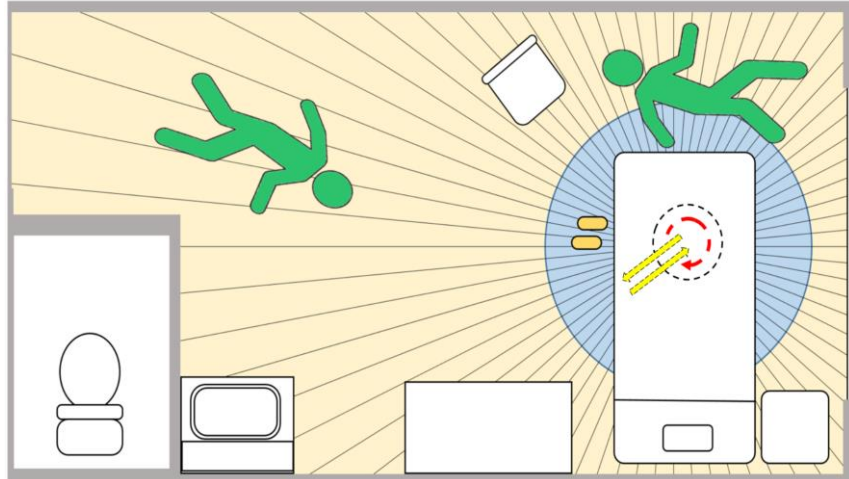
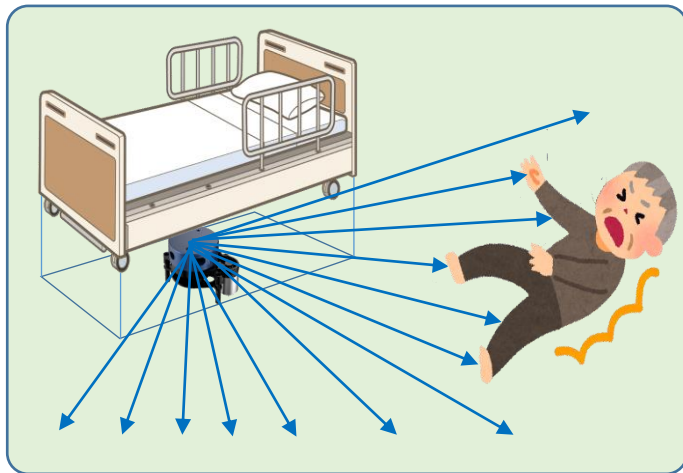
介護者は自動で除外します。

部屋から出れば徘徊と判定します。



センサーはベッドの下に設置します。

■ 転倒検出エリア ■ 離床検出エリア ■ 転倒者 ■ 足 ■ LIDARの掃引



転倒・離床検出の原理

- ◆ 上はLiDAR（ライダー）「light detection and ranging」と呼ばれる装置で、レーザー光を360度照射し、物体までの距離や方向を測定します。
- ◆ これをベッドの下に置いて足や人体の距離と大きさを測り、転倒と離床を判定します。
- ◆ 1秒間に5回転し、高速で足や人体を検出する事ができます。分解能は1度で最大計測距離は8mとなります。
- ◆ プライバシーを守る国内初めての技術で特許も取得しています。

